

昭和53年2月15日発行（毎月2回1日・15日発行）編集と発行／南国市広報委員会／事務局／企画財政課広報広聴係



● ● — とじておくと便利です —

南国おどりも披ろう・三和青年団（物産展で）

あなたと市政をむすぶ★★★★★

広報

なんこく

2/15 1978 No.258

編集・発行／南国市広報委員会

黑澀

日程に従つてヘルシンキ市役所を表敬訪問する。ていねいに迎えられシユメツズ氏から市の自治権・特異な行政機構・財政事情等について説明をうけた。市長は市長選出委員会によって選ばれ、六人の副市長を任命する説明をしてくれているシユメツズ氏は副市長の一人であった。副市長の下に九人のそれぞれの

これらの具体的の市民活動団のノウハウまで法律、政令によつて財政援助が行われている。例えば、禁酒

いた。ハスは男で、しかし、ピオラ団地の観察に行く。案内役のイエニー・ケアイネン女子はスチ

と、園地の外縁には見渡すこと
ができた。畠の下に大きなブール
があり、そのとなりには噴水が威

やましい タヒオーラに実現しようとした創設者の描いた理想は、

歐州行政視察を終えて⑤

市長 小笠原 喜郎

統ヘルシンキ「タビオーラ」
タビオーラとは、フィンラン
ド人によって語り伝えられた森
の王様の名前である。この国の
民族らしく偉人の名をたたえて
名付けられているのか、ご自慢
の線のガーデンシティー、タビ
オカ国地である。

十月十一日の朝、中央駅の見
えるソコスホテルを出て十時、
日程に従つてヘルシンキ市役所
を表敬方訪する。こゝに此種
部門の担当官がいる。市議会議員
は八十五名であつて、この中から
行政担当官が選ばれることもある。
政黨は九つに分かれている。議員の
任期は四年間である。市税は、一
律一五%の所得税が約四〇%をし
め、あと約六〇%が港湾、ガスの
事業税である。概略ながら、自治
を尊ぶ共和国の首都にふさわしい
行政の特徴をうかがい知ることが
できた。

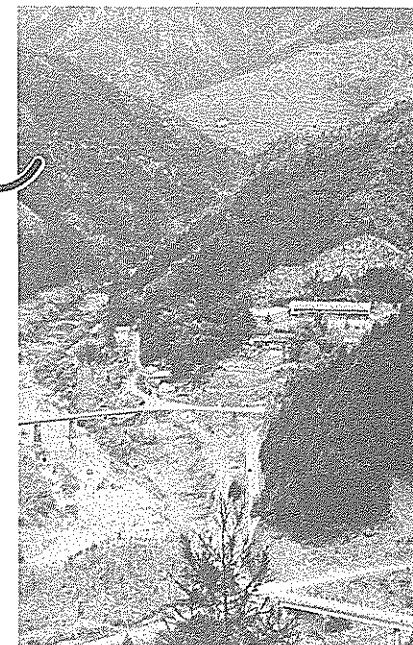
次の日曜、青少年センターでは

といえよう。委員会は幅広い接触、提言を行い、青少年活動に必要な施設用地を確保し、建設もする。このように青少年活動に力を入れているのは、かつて当面した戦争孤児、戦争未入対策等も大きな原因の一つであつたとも想像される。現在要請されている直接の原因は、何といっても働く婦人が多いことであろう。非行青少年についての現状ならびに将来発生する懸念はないかとの質問には、見大

語はほとんどできないが、英語がわかるので、いくぶん気が楽であつた。旅行中、この国が好きになつて、世界中で一番住みよい国だと信じ込んで、永住の地に決めていた日本人松島青年がガイドとして乗り込んでいた。我々一行の霧雨気も、あたたかく迎えてくれた今朝の市役所訪問以来餘々にはぐれても、なごやかになつてきはじめたようと思う。湾が深く入りこんでいるので溼度が少々かすんでいま

グリーンベルトをへだてて軽工業地帯がある。自然樹を残し、芝生、花壇を増加している。セントラルフィーチングはもちろんのことだが、用排水、し尿処理も完備している。

小学校廃校の見通し



過疎化が理由

入室生徒たし

黒滝小学校を「廃校」にするか、
休校にするかの話し合いで、一
月三十日、黒滝小学校で開かれま
した。

市側からは、門田教育長、教育
委員ら教育委員会関係者が出席
し、地元からは黒滝（八戸）、大
改野（五戸）、桑の川（十二戸）、
中の川（三戸）、井の沢（三戸）
の各地区から約二十人が出席し、
話し合いがもたれました。

まず、教育委員側から「今年三
月三十一日で、黒滝小学校を廃校
にするか、休校にするかについて、

また、廃校となればこの教育施設をどのようにするか、について意見を聞かせてもらいたい。」といふあいさつがあり、その理由として、昭和三十年からこの黒滝の地に来て二十数年になりますが、ここでその歴史を閉じる段階に来て、市内での廃校の例としては瓶君小が久礼田小に吸収合併されました。が、それは公害が理由でした。今回は過疎の問題であり、必然的にどうしようもない状況にあります。何らかの処置をしていくうえで、地元の人々の意見を聞き、

生徒が入学するという見通しがないが、思い思いの職業に就きいいのではないかと思う。」「二十三年先の生徒のメドもなく、特産物があり家族が引越してくるということも考えられない。」複式学級で続けるのが子供のためによいのかどうかという問題もある。現在の状況を基盤として、残念ながら廃校にふみ切るべきだ。」という意見が地元から出されました。

化の問題が中心となり、それについて市側は「地元のみんなが町づくりに積極的に取り組んでいく」という考え方であれば飛び地市街化の方向づけができるでしよう。その時は岡豊の土地の約三〇%の減歩が必要となるでしよう。」と見解を示しました。

その他に、三十二号線を中心とした町づくり、高速道路、米の生産調整などについて、意見交換がありました。

入学する生徒の見通しがなくな
くなったことにより、廃校か
休校かの処置をとることにな
った黒滝小学校で、市側と地
元との話し合いが1月30日開
かれました。

黒滝、大改野、桑の川、中の川、井の沢の各地区から出席があり、“廃校か休校か” “現在の校舎をどうするか” “校舎の利用方法、などについて、熱心に話し合われました。

因縁では

3

2 3

市民カレンダー

2月21日から3月10日まで

日	一般・衛生行事	日	一般・衛生行事
21(火)	不燃物の収集（後免東町、横町、中町、中ノ丁、 東芝住宅）	28(火)	日章成人食講習会・1:30集合 日章地区公民館 不燃物の収集（笠の川、八幡、小蓮、定林寺、滝本、 蒲原）
22(水)	不燃物の収集（中島町、沖、山畠、吉田、常通寺島、 江村、小笠）	1(木)	不燃物の収集（十市北部、浜改田）
23(木)	不燃物の収集（植田、久礼田） 資源ゴミ（金属類）の収集 物部、稻生、大篠	2(金)	不燃物の収集（前浜、下島、久枝） 資源ゴミ（金属類）の収集 野田、後免、長岡
24(金)	愛の献血 10:00~12:00 帯岩農協 1:30~3:00 南国市農協 稻生成人食講習会 11:00集合 衣笠公民館 十市成人食講習会 1:00集合 十市農協購買部前 不燃物の収集（植野、領石）	3(土)	不燃物の収集（立田）
25(土)	法律相談・10:00~12:00 社会福祉センター 3-4444 不燃物の収集（帯岩、上倉）	4(日)	不燃物の収集（田村）
26(日)	休日在宅医・川村胃腸病院（立田） 4-2707	5(月)	休日在宅医・川田内科（後免） 4-2801
27(月)	不燃物の収集（国府、岩村）	6(火)	不燃物の収集（十市南部）
		7(水)	不燃物の収集（黒改田、片山）
		8(木)	不燃物の収集（能間、野田口、城陸、榎田町、朝日町）
		9(金)	不燃物の収集（稲吉、西洋、新川、鈴江） 資源ゴミ（金属類）の収集 国府、岩村、岡豊、 久礼田、上倉、帯岩
		10(土)	不燃物の収集（山崎、八木、田井、関、竹中、西野々、 住吉野、伊達野、南海学園）

●不燃物の収集
—十市北部（二月分）は三月一日に収集します。

公害環境課

1月の交通事故

	件数	死者	傷者
1月の事故	20件	0人	29人
昨年の1月	23件	0人	26人
ことしの累計	250件	0人	334人

交通事故は110番へ

火災と救急

	火災件数	被害額	救急件数
1月の件数	2件	13万円	72件
昨年の1月	3件	204万円	190件
ことしの累計	28件	1,312万円	1,937件

火災と救急は119番へ